

□ 6GHz以下

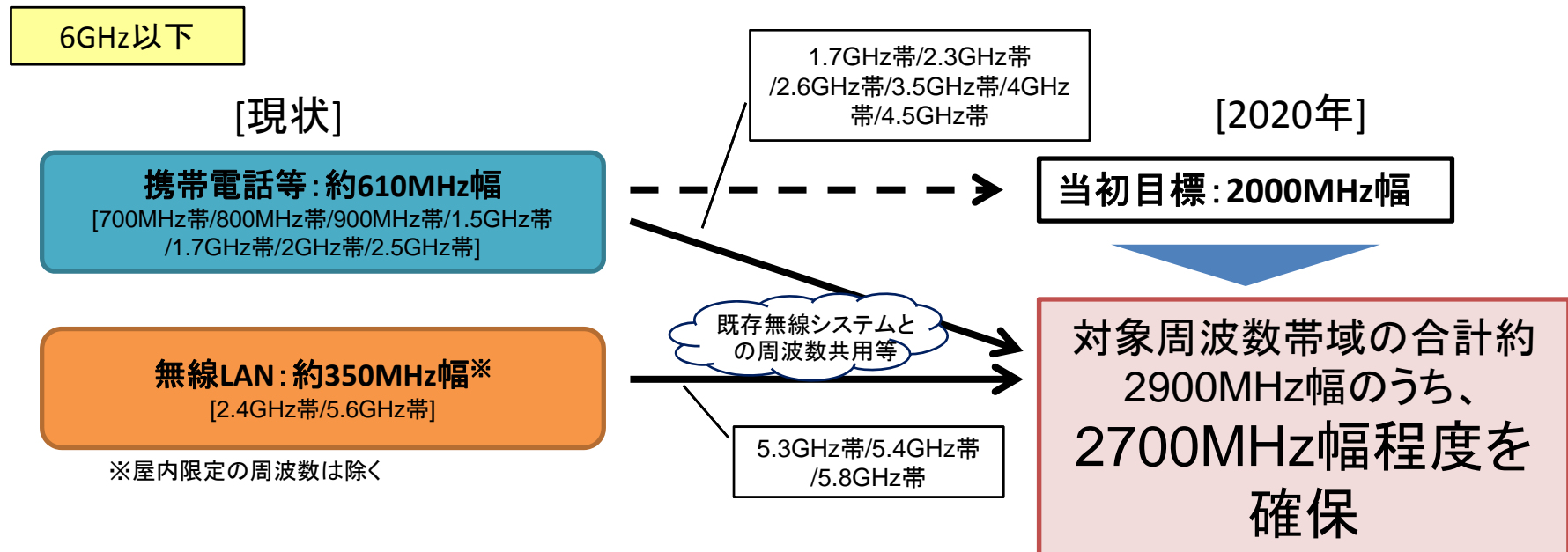
- 携帯電話等(現在:約610MHz幅)にあつては、3GPPで設定されている国際標準バンド及びITUにおいて当面確保すべき対象として検討されている周波数帯を対象として確保。

対象周波数帯:1.7GHz帯/2.3GHz帯/2.6GHz帯/3.5GHz帯/4GHz帯/4.5GHz帯 (合計約1500MHz幅)

- また、移動通信システムは、今後、無線LAN(現在:約350MHz幅)との一体的な周波数使用と想定されることを鑑み、IEEEで設定されている周波数帯を対象として利用拡大。

対象周波数帯:5.3GHz帯/5.4GHz帯/5.8GHz帯 (合計約450MHz幅)

6GHz以下の周波数帯で、無線LANを含めた対象周波数帯域の合計約2900MHz幅のうち、既存無線システムとの周波数共用等を図り、2020年までに2700MHz幅程度の確保を目指す。



□ 6GHz以上

- 第5世代での活用を念頭とし、国際分配において移動業務に分配されている周波数帯のうち、未使用の周波数帯(40GHz帯/48GHz帯/70GHz帯:約10GHz幅)に加え、固定・衛星系等で使われている周波数帯(8.4GHz帯/14GHz帯/28GHz帯/80GHz帯:約13GHz幅)を対象として検討。

諸外国での動向や今後の周波数需要等を踏まえつつ、対象周波数帯の利用に関する研究・標準化等を進めた上で、今後必要となる周波数幅の確保を目指す。

6GHz以上

□ 周波数利用に関する研究等を促進

検討対象周波数帯:8.4GHz帯/14GHz帯/28GHz帯
/40GHz帯/48GHz帯/70GHz帯/80GHz帯]

約23GHz幅

今後、必要と
なる周波数
幅を確保